
中にはこんな人も

静本華

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

中にはこんな人も

【Nコード】

N1552Z

【作者名】

静本華

【あらすじ】

医者の星筋道治朗は気がついたら大正まがいな街「青葡萄」へ来ていた。

その街には色々な人と人以外にも住んでいて…

プロローグ

プロローグ

夢を見た

暗くて、変な匂いがして、気分が悪くなるような…

…あれ？ それは現実だっけ

「一体全体どういう事なんだー！！！」

気が付いたら私は走っていた
暗い路地裏をただただひたすら

後ろには二つの大きな影がある

ズンズンと音を立ててこっちに向かって走ってる

ああもう駄目だ。大体私は体力がない
でもこのまま捕まるのはごめんだ。大体なんでこうなったのだろう

細く薄暗い一本道の路地裏に、一つ分かれ道が見えた
そこを曲がって入ろうとすると

「ぐぎっ！」

巻いていたマフラーが、何かに引っかかって動けなくなってしまった
それに首が絞まって苦しい

「うつぐっ、…クソッ」

後ろがさっきの黒い影が追ってきている
眼らしきものがギラギラ光って不気味だ

どンドン影が大きくなってきている…

本当にもう駄目かもしれない

覚悟を決め、目をぎゅっつつぶった

その時

「こっちですよ」

変な声が聞こえて

いきなり袖を引っ張られ、暗い道の奥へと連れ去られた

笛の音

なんだかすごく怒っていたような気がする
いや…怒っていたというよりあれは絶望に近い。

足が重くもう何も出来ない状態…

ハッとなって目を開けると広い草原に立っていた

周りには送電塔がこちらを見下ろしていた
気が付いたら遠くまで引っ張られていたのか…

袖をみるとまだ何かに掴まれていた

よく見るとそれは人間であり小さな中年男性であった

キヨロキヨロと辺りを見渡している

「もう大丈夫ですよ」

手を離し、中年男性は顔をあげてそう言った
帽子の下から温厚そうな顔が覗いた

「あーどうも…先ほどはなんと言つか…」

頭を掻きながら男性にお辞儀をした
それにしてもさっきのはなんなんだったのだろう…

「あのすみません、ここってどこなんですか？」

なんだか迷子みたいで聞くのが恥ずかしかったが、聞かない事には
始まらない

それになん다가早く帰らねばならない気がした

「ああ、ここですか？」

男性は草原の真ん中に立ち、懐から何かを取り出した

「ここはですね」

手に持っていたのは体育の時間に使うような小さい笛
それを口にくわえ、ピーっと鳴らした

草原に笛の音が広がる

地面から不思議な音がし、目を向けると

「……！」

地面から和風の建物が次々と生えてきた

屋根に乗っていた土が私の頭の上に落ちてきた

目に入らないよう慌てて振り払った

「なっなんなんだこれ！」

男性の方を見ると何事も無いように家に入る

玄関には表札がかかっていた

「……フドウさんの家……？」

「はい、私の家です」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1552z/>

中にはこんな人も

2011年12月5日18時17分発行